

弓道ながの

第63号

発行：長野県弓道連盟
 会長 外園公毅
 〒399-4117
 駒ヶ根市赤穂10214-4
 TEL0265(83)5206
 編集：県弓連報部
 印刷：(株)成進社

巻頭言

着任に当たって

長野県弓道連盟副会長 八角裕之



この四月から、ジュニア部担当の副会長を仰せつかっております八角と申します。とても副会長という器ではないと承知しておりますが、一生懸命務めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。また、常日頃より会員の皆様方には、各地区の弓道場での中学生・高校生を対象とします大会・審査等につきまして、格別なるご理解とご支援を賜りまして心より感謝いたします。

さて、今年度の長野県高等学校体育連盟の加入状況調査によりますと、弓道部の所属人数は二千五百名を超え、全道府県の中でも八番目に当たります。所属人数は近年微減傾向にありますが、少子化により高校生全体の人数が減っている状況を考えますと、相変わらずの人気を保っているといえます。ほぼすべての高校に弓道場・弓道部があり、ほとんどの人が中学校まで未経験であるゆえに、皆が同じスタートラインに立てるこの競技に憧れを抱き、頑張ってみようと思うからではないでしょうか。

私も高校の教員として、微力ではありますが弓道部の指導に携わってきました。三年間の部活動を通して、成就感・達成感・挫折感・連帯感など他の部活動と同様に身に付くものに加えて、弓道独特の克己心や礼節を習得して欲しいと願って指導して

きました。しかし、いつのまにか「結果(試合の成績)」にこだわってしまっている姿を見れば見るほど、「勝たせてやりたい」と思うのが人情です。知識と経験をつぎ込んできました。ただし「勝つために」ということに強くこだわってしまうと、高校での部活動生活は短すぎると思います。部に在籍し弓道部として活動するのは三年間ですが、競技として弓道に向き合うのは実質二年間です。結果を出してやりたいと無理な指導をして失敗した苦い思い出がたくさん残っています。

私が弓道に係わったのは三十二歳で顧問に就いたのがきっかけです。

同じ学校で顧問をされていた北嶋晋先生に、自分の弓も部活動のありかたについてもご指導いただきました。ある年のことです。女子は全国大会へ出場等の好結果を出しましたが、男子は地区大会で敗退してしまふような状況でした。そのとき北嶋先生が「男子も上手に引いているのに何が足りないな。でもあいつら、将来いつかまた必ず弓を引くだろう」と仰っていました。今になるとその通りで、その男子の中の一人がその後国体の成年男子で大活躍された志村仁先生です。

大会や審査で結果を残すために頑張るといふことももちろん必要ですが、技術の上達のためには有効です。それを上手に絡めながら、「高校を卒業しても弓道が続ける」または「しばらくしたらやってみよう」のように思わせるような指導がとても大切だと思います。最後になりますが、今後ともジュニア部に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



卒業しても弓道が続ける」または「しばらくしたらやってみよう」のように思わせるような指導がとても大切だと思います。最後になりますが、今後ともジュニア部に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お蔭さまで

長野支部 教士六段 棚田 千鶴



細く長い道程を

ようやくとの感です

お蔭さまで

ありがとうございます

梅雨とは名ばかりの

空梅雨の暑い仙台でしたが

爽やかな風と

青空に浮かぶ白い雲の流れが

待つ時間と暑さを

忘れさせてくれました

当日は、第一射場百九十四名、第二射場百九十三名と、受審者数が多く、二次審査終了後の候補者発表が、夜の九時半を廻っていました。

外は真暗だったので、弓道場玄関先で番号の書かれた用紙を掲げてくれたの発表に、自分の番号を見つけることが出来ました。

暗い帰り道を、まんまるお月さまが

明るく照らしてくれました。

自分も疲れているにもかかわらず、最後まで待っていてくれた弓友に感謝です。

本当にありがとうございます。

やっとホテルに戻ったのが0時前、自宅に電話を入れたら、家人はまだ起きて待っていてくれて、

「お蔭さまでありがとうございます」

…と(ペコリ)

「良かったね、気をつけて帰っておいで」…に(ホッ)

長い一日が終わりました。

家の都合で、ひとり稽古になり、辛うじて弓と繋がっていた時に、一緒に引いて助言を下さった弓友に感謝です。本当にありがとうございます。

久しぶりにお会いした先生に

「弓はひとり引いてちゃ駄目だよ」と諭されて、月一回行われる北信教練士会主催の勉強会へ出かけました。

温かく迎えて下さる先生、先輩、弓友の中で、一緒に勉強出来る貴重な時間

を頂きました。

本当にありがとうございます。

今は、先生そして仲間たちと共に、弓に向かえる時間を持つことに深い感謝の念でいっぱいです。

本当にありがとうございます。

これからも、薄紙を重ねていくような弓の道を、一箭至誠の心を忘れずに精進してゆきたいと思います。

微力ではありますが、少しでもお役に立てるようと思っております。

どうぞ変わらぬご指導の程、よろしくお願いいたします。

射は謝なり感謝なり



弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

近的道場	18人立1ヶ所 (床暖房完備)
	12人立2ヶ所
遠的道場	1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

寄稿

範士八段 百瀬 豊先生を偲んで

上田市 教士七段 清水 克也

一、百瀬 豊先生との出会い

昭和四十年春、上田市で勤務先の上司である木下貞澄先生(松本市に在住)に弓道の手解きを受ける。同四十二年松本に転勤し、松本城葵の馬場にある現在の葵弓道会に入会し、此処で百瀬豊先生に師事することになった。私は葵弓道会に入会しても、仕事や弓の事が殆どわからないまま、百瀬先生のご家族や、会員の皆さんに支えられてこの道に没頭していった。

二、師匠のメモ書きと「はがき」

師匠はよく勉強されており門弟にもよく説明してくれた。気づいたことは

直ぐメモに書いたり、はがきに書いて郵送して頂いた。

私の手元にある、はがき保存ファイルには師匠から頂いたはがきがたくさんある。中でも大会や例会の後、師匠は必ず注意すべき事、直されたい事柄等を事細かく書いて下さった。

例えば次の如くである(葉書の儘)。

「昨日拜見致し、昔からの悪い所、両強弱が強すぎます。肘力の時「妻手肘は右脇腹の線よりは、出すな入れるな引かず吊せよ」「大三は弓の力を足裏に受け腰・背・肩の軸で張るもの」。「息合いは、腹を引き締め息を吐き出して後平息ぞよき」「水中の息平息は胸動かさず喉元と鼻の



空気を軽く動かす」「打上げて押すは両脇両肘に弓力を受けつつ足裏でなせ」と書いてある。云われてすぐ直るものでもない。しかし次の稽古までに何も変化がないと、叱られる事間違いないのである。このように弓道に於ける私の

大半は、師匠のひと言一言の積み重ねであることに感謝している。只、残念なことは、私の修行の未熟さが故に、師匠の期待通り上達していない事である。誠に申し訳ないことである。

三、師匠からの宿題

晩年師匠は暑夏の病床の中で、同門の教士宛に宿題を出した。それは、「三つ重ね、五つの十字基として、地軸に届け、宇宙貫け」この教歌について各々二分以内で七月例会の参加者に説明するように宿題が与えられた事を想い出す。胴造りの重要性、会に於ける縦横十字字の規矩、五重十字字の構成、天地左右の伸び合い、五部の詰めなど、良射を生む絶対的条件を改めて勉強し直すことになる。又師匠がいつも「大きな射」を引くと云っていた事も脳裏をかすめる。

阿波研造先生の「大射道、射は天道也、などより射人の究極の目標の顕現を、我々に教えていたのだと。又、打ち上げは、地軸から起って極天まで心気の続く限り貫通する。そして引分けは横線、南極から北極に広がるまで、更にそれを超え、宇宙横線となるまで呼吸の続く限り延伸する……「会」である。その会は上下左右伸張して自然の処に至って離れが生ずる。この射境に於いて無発の発、絶対の聖射、至誠



顕現の射が現成するのである。等と師匠から教わったことを説明したように思う。いずれにしても我々凡人が到底届く事の出来ない世界への入口かと思われるが、究極の目標へ一歩でも近づく事の出来るように、自ら研鑽してゆくことが、師匠に対する恩返しと考えている。

ご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

平成二十九年度

北信越地区(信越)講習会(称号)を受講して

中高支部 錬士五段 大塚 利恵子

平成二十九年度北信越講習会が、去る五月二十七日、二十八日の二日間にあたり、上越市弓道場に於いて、講師に小林憲二先生(教士八段)、杉田博先生(範士八段)、宮坂博之先生(教士七段)、渡邊恵兒先生(教士六段)をお迎えして出席者三十八名で行われました。

まず主任講師の小林先生より「今日の講習会は、地元に戻れば指導をする立場の先生と呼ばれる皆さんです。今日は厳しい言葉で指導するかもしれませんが、指導者は人に手本として見せられなければならない。人に見られても良い様なもの自身につけてください。後進に指導すると言う事は言われてきた事を伝言ゲームの様に、ただ伝えるだけではなくの所は伝わりません。その内容を自分なりに咀嚼して、自分のものにしてから伝える事が大事です」というお話があり、称号者として日が浅いわたしは、改めて自分の立場を知り、しっかりと自覚しなければと

反省しました。

午前中には、基本動作の確認で、歩き方、歩行中の回り方、開き足を細かに御指導いただきました。特に踵を上げない様に歩くという点では、道場を皆で何度も歩き「普段の稽古が、晴れの間では出てしまうもので、



本番だけ上手にやろうとしても合いません」との厳しいお言葉をいただきました。その後、着装の注意点、弓は矢を飛ばす事だけではなく、歩く事から全ての動作を含めて弓であるという気持ちが大切、指導者という立場であつても積極的の人に见てもらうてきちんと稽古する事、道場に入る時は自分を表現するという強い気持ちが必要、新問答集の確認、その他射技においての細かな動作の注意点などの全体の講評を戴きました。

二日目は、講師の先生方による一つの射礼演武、受講生の射礼研修が行われました。射礼で失が出た時を想定しての稽古が必要である事、指導者として襷、肌脱ぎは、男女関係なく両方出来るようにしておく事、とお話があった時は、何となくわかる、何となく出来るというのではいけないのだとはっきり感じました。特に、教本、副読本に書いてある事はその通りにしなければならぬが、それ以外はきまりが無いので、時、所、位に応じて自分なりにやらなければならぬという点では、指導者の認識で、きちんと勉強しておかなければいけないと思えました。今まではどちらかという受け身で物事をとらえていてわかつたつもりになってお



りましたが、指導者になるという事は、自分だけで理解して出来るだけではないといけないという事です。正直自分にはまだまだ足りない事、知らなかった事が山程あると痛感させられる講習会でしたので、早い時期にこの講習会を受講出来て本当に良かったと思っております。

正しい事をきちんと伝えられる指導者になる為にも今後更に研修を積み上げる努力を続けていきたいと思っております。

北信越地区(信越)講習会(五段)に参加して

安曇支部 五段 荒井 ゆき子



平成二十九年度北信越地区講習会【信越地区五段の部】が、五月二十八日、桜の青葉が五月の陽射しに映える飯山市弓道場において開催されました。長野県から外蘭公毅先生、平野英孝先生、新潟県から平松賢一先生、安達行法先生の講師陣。受講生は長野県、新潟県合わせて六十一名の参加でした。

初めに主管地連会長の外蘭先生から「来月長野で錬士臨時中央審査があるからか、受講生が例年よりも幾分多い。今日の講習会は審査の事前講習として行いたい」とご挨拶があり、日程説明、唱和の後、早速二射場に分かれて審査の間合いで一手指射を見ていただきました。次いでこれに対する先生方の講評をお聞きした後、射場を換え立順をずらして、入退場体配射技の個別指導を受けながらの一手指射で午前終了。昼食後、講師の先生方による持的射礼の特別演武を拝見させていただき、引き続き持的射礼の研修。しっかりと見ていただいたので一巡のみで時間がだいぶ費やされ、休憩後の残り時間は男女に分かれて総括、質問時間にあてるという流れの一日でした。

先生方の講評、指導。平野先生は、末弭は常に体の中心。足の先まで神経を行き渡らせ、足を閉じる時袴を揺らさない。すべての動作は最短距離で動き。いろいろな動作をしない等、細かいことではあるがと前置きされつつ気になった点を挙げられ、矢取りの仕方、矢の持ち方にも注意を払うよう指摘された時は、無意識のうちの自分はどうかあったかとはっとさせられました。

安達先生からは、入場では動作を五人で揃えることのみを意識が行き過ぎて本座の位

置がとれていない。普段から意識して五人で揃って呼吸、間合いを揃える稽古をするように。また、癖のある射も見られるので、審査に臨むのであれば直して行きたいもの。一次で射技が五段以上のものを持つているか見て、二次は全体、体配をみる。道場でなくてもできる稽古をするよう話され、何度もご自分の袴の裾を上げて足袋を見せながらの足踏み、歩き方のご指導が強く印象に残りました。



平松先生は、第二射場の意を注ぐ方向の確認、退場時意を注ぐ方向に対し百八十度前後あるような場合の足の運び方、問答集二十頁の退場の仕方の確認、弦を反すときは二本の指で、矢先上がり等をあげて勉強不足を指摘しつつ、錬士の審査は指導力を問う。教本に則って指導するのであるから、教本第一巻をよく読んで基本はどうであったかいつも確認し基本通りにするようにと話された。

外蘭先生は、歩く時、吸って吐いてで四歩であるからノツタリはあり得ない。団体が合わせるには呼吸しかない。呼吸の大切さを強調された。そして肌脱ぎ肌入れ、襷さばきも呼吸に合わせ

せてが基本。男子が肩を脱ぐ時と女子が左肩に襷をかける時を合わせることを気にするあまり不自然に止まることのないよう、練習も息合でする。女子の襷さばきについて、自分は弓矢を支える腿に肉がないから平らで滑り落ちないと笑わせながら、安定するところを自分で探すこと、肩周りを毎日柔らかくほぐすようにアドバイス。とにかくどこでも練習しないと繰り返された。

閉講にあたり外蘭先生より「審査は受かるつもりで行くように。たまたま一次審査に受かって右往左往するようでは、他の人の迷惑。熱心な先生方の頑張り、で持的研修が出来、一次審査が受かって

も安心していられるのではないかと」とお話がありましたが、本当に熱心に指導いただきました。五段の認可をいただいて約一年。一日を通し先生方の言葉の端々から錬士審査に対する心構え、考え方をお聞きし、今後の弓道に対する自分自身の姿勢、あり様を改めて考えさせられる一日となりました。

私と弓道

上伊那支部 四段 松本 隆伸

私は外様の弓引きです。その理由は、私の出身が栃木県であることと弓道の根源が長野県ではなく県外にあるためです。私と弓道の接点は栃木県の足利工業高校弓道部からになります。ちなみに、足利工業大学付属高校という強豪校があります。ここは私立なので別です。きっかけは、部活動紹介で巻き藁を引いた先輩の姿が恰好よかったという恐らく高校で入部する最も多い理由になります。高校に道場が無かったため、市の道場で練習していました。顧問の先生は弓を引けて非常に上手だったので、道場が学校から離れていたためあまり顔を出せず、もっぱら高校



卒業生の方に指導を受けていました。この時身に付けたことは良くも悪くも私に染みついています。高校卒業後、新潟の長岡技術科学大学に進学し弓道続けました。当初は続けるつもりはなかったのですが、新入生研修合宿の時に同室になった弓道経験者の同級生に引っ張られる感じで入部しました。大学に道場はあったのですが、定期的に来て頂ける先生はおらず、年二回ほど五十嵐四郎先生に特別講師として来て頂くのが精一杯でした。そのため、指導は先輩が頼りで私が部内の最高段位になってしまおうと指導を受けられず色々苦しんだ時期でもありました。就職して長野県に移り住み伊那那市体育協会弓道部に入部しました。ただ、最初は馴染めずしばらく道場に顔を出せない時期がありました。そこから復帰できたのは、会社の方からの勤労者選手権大会に出場しないかというお誘いでした。大会出場のために頑張つて道場に通っているうちに道場の方と打ち解け、道場へ通うことが楽しくなり今に至ります。現在の目標は勤労者全国大会への選手としての出場と五段への昇段です。

弓仲間紹介

長野運動公園クラブ

参段 押見 恭子

高校を卒業して四十年。六十歳を目前にして、かねてより念願だった弓道を再開しました。子育ても終わり、仕事も第一線を退いて「さて、これからは弓を引きながら、ゆったり余生？を楽しもうかな」と軽い気持ちで、初心者教室を経て長野運動公園クラブに入会させて頂くことになりました。



ところが、ところどころが、いざ入会してみると、私の思い描いていた弓生活とは全く違う世界がそこには待っていたのです。余生を送る…なんて、とんでもない。まだまだ人生真っ只中！弓だけが、力強く弓を引いていらっしやる！自らを高めるために日々精

進して審査に挑戦していらっしやる！私と言え、ただただ驚くばかり。「えー、こんなはずじゃなかったのに」と、心の底の底で思いながら、同期に手を取られ、先輩方に刺激を受け、熱心な先生方に励まされ導かれて、私もその弓道の道に踏み出すことになったのでした。再開したは良いものの、そう思う様には行きません。悩みばかり落ち込むばかりの毎日でした。その頃、ある先生とお話しさせて頂く機会がありました。私の間に先生は、「いつも悩みながら引いている。悩みが無くなったら多分弓は辞めるよ」完璧だと思っていた先生からの、全く予想しなかった言葉に驚き、弓道の奥の深さを垣間見た思いでした。今はたまの的に心を躍らせながら、一生修行の言葉を胸に道場に通っています。



北信越国体

日時：平成29年7月20日～23日
於：敦賀市総合運動公園弓道場

成年男子 1位突破!!

	近的	遠的
成年男子(清水、小田切、平澤)	31中 2位	264点 1位
成年女子(川村、藤澤、井原)	24中 3位	134点 3位
少年男子(小口、熊谷、川島)	24中 4位	175点 2位
少年女子(松下、井堀、春原)	22中 3位	148点 1位

総合成績

成年男子	10点	1位
少年女子	9点	2位

以上本国体出場



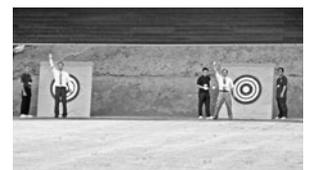
平成29年度 壮行会・長野県弓道支部対抗競技会

日時：平成29年8月20日(日) 於：県営飯田弓道場

団体近的	優勝	飯伊支部	33中	団体遠的	優勝	飯伊支部	28中
	2位	上伊那支部	24中		2位	諏訪支部	25中
	3位	安曇支部	23中		3位	安曇支部	25中
	4位	長野支部	23中		4位	塩尻支部	24中
	5位	松本支部	23中		5位	木曾支部	20中

個人近的	優勝	平澤 敏弘(飯伊支部)	個人遠的	優勝	清水 北登(佐久支部)
	2位	志村 仁(諏訪支部)		2位	平澤 敏弘(飯伊支部)
	3位	伊藤 公二(塩尻支部)		3位	征矢 将弘(上伊那支部)

総合優秀支部 飯伊支部



大会結果

第60回松本市民体育大会春季弓道大会

○平成29年5月28日(日) 松本市弓道場

参加人数・高校155名、一般55名、合計210名

個人(8射)

▲高校

- 1位 高見茉莉(懸陵女子A) (8中)
- 2位 奥田 夏希(松商学園I) (7中)
- 3位 新井かなえ(松商学園A) (7中)
- 4位 高野 航汰(懸陵男子C) (6中)
- 5位 青柳 日菜(松商学園D) (6中)

▲一般

- 1位 山崎 征樹(松本市A) (8中)
- 2位 保木野克海(信州大学A) (7中)
- 3位 後藤 航平(信大医学部弓道部D) (7中)
- 4位 水野 りん(信州大学A) (7中)
- 5位 古畑 美香(アイリス) (7中)

■団体の部(24射)

▲高校

- 1位 松商学園A(西堀彩夏、中島優衣、新井かなえ) (17中)
- 2位 懸陵男子C(富山剛、保科拓哉、高野航汰) (17中)
- 3位 松商学園I(山田樹、深澤龍平、奥田夏希) (17中)

▲一般

- 1位 信州大学A(関口直人、水野りん、保木野克海) (18中)
- 2位 松本市A(山崎征樹、関沢喜内、山田清夫) (15中)
- 3位 信州大学C(六川尚也、鹿島淳矢、赤沼春菜) (14中)

第60回近県弓道上田大会(高校の部)

○平成29年5月28日(日) 上田市城跡公園弓道場
参加人数・男子115名、女子116名、合計231名

■個人(8射)

▲男子

- 1位 小池 観月(上田染谷丘) (7中)
- 2位 三井 翔稀(岩村田) (7中)
- 3位 細野 稀理(上田千曲) (7中)

▲女子

- 1位 中村 真衣(上田千曲) (7中)
- 2位 戸澤ちひろ(屋代) (7中)
- 3位 北澤 杏佳(長野工業) (6中)

■団体の部(40射)

▲男子

- 1位 上田千曲B(山本風輝、北沢達彦、佐藤賢治、永井翔太、細野稀理) (26中)
- 2位 野沢南(富山裕成、宮川尚樹、須田翔基、平井駿次、吉澤岳希) (22中)
- 3位 篠ノ井(内村勇亮、山越雅希、篠原樹生、藤澤伊織、西澤知希) (22中)

▲女子

- 1位 上田千曲B(増田春菜、中村真衣、山崎晴香、樽井梨里、関七聖) (21中)
- 2位 上田東A(有賀未智、佐藤里音、原田星南、平林果穂、小林彩季帆) (18中)
- 3位 上田A(山浦桐子、大井綾乃、五味和佳奈、小野澤帆南、市川真由) (17中)

平成29年度長野県高等学校総合体育大会

○平成29年6月3日(土)・4日(日) 長野運動公園弓道場
参加人数・高校460名

■個人(12射)

▲男子

- 1位 丸山 颯斗(長野) (10中)
- 2位 内村 勇亮(篠ノ井) (10中)
- 3位 浦野 陸伺(駒ヶ根工業) (10中)

▲女子

- 1位 亀割 萌(飯田女子) (11中)
- 2位 黒木 夏雲(大町岳陽) (11中)
- 3位 代田 結万(飯田) (9中)

▲団体の部(トーナメント戦)
▲男子 塩尻志学館(岡田晃輝、塩原真仁、島崎優也、鈴木蓮、村上歩、籠田真輝、宮沢陸)

■個人(8射)

▲男子

- 2位 長野(丸山颯斗、酒井智基、田中貴大、間宮勇太、神田陽仁、坂田泰生、丸山駿) (10中)
- 3位 長野吉田(佐藤光、宮澤達也、和里田凌太、井出圭祐、本澤隼人、萩原篤志、傳田匠) (10中)

▲女子

- 1位 飯田女子(土岐彩乃、亀割萌、伊藤美月、木下捺深、熊谷桃、市瀬夏佳、近藤瑠美果) (10中)
- 2位 伊那西(北澤侑佳、藤田愛、中原瑠美、永嶺有紀、春日桃桜、高木麻由佳、原桜) (10中)
- 3位 長野吉田(木村光菜、春原か乃、木下しおん、山口朝香、金井麗夏、保科由紀、村山柊花) (9中)

無相大師奉賛弓道大会(一般の部)

○平成29年6月4日(日) 中野市弓道場
参加人数・一般48名

■個人(8射)

- 1位 清水みつ子(中高支部) (7中)
- 2位 小池 君男(長野支部) (7中)
- 3位 酒井 優豪(中高支部) (6中)
- 4位 宮島さおり(長野支部) (7中)
- 5位 大原 薫(上越市) (5中)

第54回近県弓道大会兼西澤盃争奪弓道大会

○平成29年6月10日(土) 山ノ内弓道場
参加人数・一般33名

■近的(8射)

- 1位 笠井 信夫(長野支部) (6中)
- 2位 北原 明典(中高支部) (6中)
- 3位 小林 丈流(長野支部) (6中)
- 4位 荒井みさ江(中高支部) (5中)
- 5位 宮島さおり(長野支部) (5中)

第64回全信州弓道大会

○平成29年6月11日(日) 山ノ内弓道場
参加人数・高校181名、一般16名

■団体の部(近的18射)

- ▲高校男子 須坂D(新津尚彦、山崎柁平、水島三京) (12中)

■個人(8射)

▲男子

- 2位 須坂A(小泉楓真、大河原弘貴、正木浩) (10中)
- 3位 中野西A(小林朋樹、金崎拓光、萩原遵哉) (10中)

▲高校女子

- 1位 長野西B(澤田楓、増田記子、三井佑月) (10中)
- 2位 上田東A(佐藤里音、平林果穂、原田星南) (10中)
- 3位 長野日大A(松本有未、小山夏希、吉岡愛珠) (9中)

■一般(近的8射)

- 1位 林 英彦(中高支部) (6中)
- 2位 清水みつ子(中高支部) (6中)
- 3位 北原 明典(中高支部) (5中)
- 4位 生田 憲克(長野支部) (5中)
- 5位 板倉 志(長野支部) (5中)

第47回北信越高等学校弓道大会

○平成29年6月17日(土)・18日(日) 福井県鯖江市弓道場
参加人数・高校240名

■団体の部(予選40射・決勝トーナメント20射)

- ▲男子 塩尻志学館(岡田晃輝、村上歩、籠田真輝、塩原真仁、島崎優也、宮沢陸、鈴木蓮) (10中)
- 2位 長野(丸山颯斗、酒井智基、坂田泰生、間宮勇太、神田陽仁、田中貴大、丸山駿) (10中)

▲女子

- 2位 伊那西(北澤侑佳、三澤秋穂、中原瑠美、永嶺有紀、春日桃桜、高木麻由佳、高嶋綾奈) (10中)

長野県弓道近的選手権大会

○平成29年6月25日(日) 上田城跡公園弓道場

■有段者の部

- ▲男子 小田切祐典(小諸) (8中)
- 2位 藤森千友貴(上小) (7中)

3位 岩原 祐貴(諏訪)
 4位 持田 武二(佐久)
 5位 高際 和美(松本)

▲女子
 1位 井原 寿恵(飯伊)
 2位 竹花 葵(上小)
 3位 窪田 和恵(大北)
 4位 古畑 美香(松本)
 5位 藤澤 敏恵(長野)

▲男子
 1位 平澤 敏弘(飯伊)
 2位 市川 隆光(諏訪)
 3位 小池 君男(長野)
 1位 宮島さおり(長野)
 2位 藤澤 敏子(飯伊)
 3位 牧野ふみ江(南佐久)

長野県弓道遠的選手権大会 兼
 第68回全日本弓道遠的選手権長野県予選会

○平成29年7月9日(日) 長野運動公園弓道場

▲男子
 1位 小田切祐典(小諸)
 2位 市川 隆光(諏訪)
 3位 清水 北登(佐久)

▲女子
 1位 戸田 裕子(上小)
 2位 藤澤 敏恵(長野)
 3位 伊藤 梓(長野)

■県代表選手
 小田切祐典(小諸)
 清水 北登(佐久)
 平澤 敏弘(飯伊)

▲女子
 藤澤 敏恵(長野)
 伊藤 梓(長野)
 中沢たみ江(佐久)

安曇野大会

○平成29年7月9日(日) 安曇野市豊科弓道場
 参加人数・高校77名、一般40名、合計117名

▲個人(8射)
 1位 竹田 千乃(大町岳陽B)
 2位 山田 樹(松商A)
 3位 竹内慎之祐(長野工業)
 4位 濱 洋平(岡谷南B)
 5位 塚田啓俊士(松商A)

▲一般
 1位 谷 敏子(おまびよん)
 2位 北原 明典(つちびな二郎)
 3位 西沢 徹(おまびよん)
 4位 土川 俊市(混成B)
 5位 酒井 優豪(つちびな二郎)

▲高校
 1位 松商学園B(西村知華、河手胡音、稲葉桃子)
 2位 松商学園A(山田樹、塚田啓俊士、深澤龍平)
 3位 大町岳陽B(江津波奈、竹田千乃、藤澤美紀子)

▲一般
 1位 あずみのBT(浅井弘道、クラダス・ジョン、柴野恭弘)
 2位 混成B(上條誠、荒川保、土川俊市)
 3位 おおまびよん(谷敏子、中島瑞紀、西沢徹)

第58回塩尻市民体育祭弓道競技

○平成29年7月16日(日) 塩尻市弓道場
 参加人数・高校41名、一般11名、合計52名

▲個人(12射)
 1位 籠田 真輝(志学館A)
 2位 鳥崎 優也(志学館V)
 3位 信末 悠稀(志学館E)

▲高校女子

1位 清水 希歩(志学館C)
 2位 藤原くるみ(志学館X2)
 3位 藤牧由香理(志学館E)

▲一般男子
 1位 征矢 理啓(志学館T)
 2位 内木 敏(塩尻A)
 3位 土川 俊市(菁莪館)

▲一般女子
 1位 鎌 祐子(塩尻A)
 2位 加藤さち子(塩尻A)
 3位 中村 永子(菁莪館)

■団体の部(12射)
 1位 志学館X2(中島みはる、村上歩、藤原くるみ)
 2位 志学館V(鳥崎優也、宮沢陸、塩原眞仁)
 3位 志学館A(籠田真輝、小出唯羽、鈴木蓮)

第53回県下弓道伊那大会

○平成29年7月16日(日) 伊那市武道館弓道場
 参加人数・234名

▲個人(8射)
 1位 新井 雄大(飯田OIDE長姫)
 2位 中山 亮也(岡谷工業)
 3位 大前明日翔(飯田風越)

▲高校男子
 1位 飯田OIDE長姫

▲高校女子
 1位 春日 桃桜(伊那西)
 2位 松井 悠花(伊那弥生ヶ丘)
 3位 清水 春菜(赤穂)

▲一般
 1位 竹村 茂明
 2位 手塚信一郎
 3位 蟹澤 史弥

■団体の部
 1位 伊那西A(永峰有紀、中原瑠美、春日桃桜)
 2位 信州大学A(松澤卓磨、水澤拓末、中山智仁)

第28回下伊那郡体育協会弓道大会

○平成29年7月17日(月) 阿南町弓道場

▲個人(8射)
 1位 松島まゆみ
 2位 藤澤 敏子
 3位 西塚 高雄
 4位 井原 寿恵
 5位 伊藤 和子

■団体の部
 1位 上飯田(亀谷静江、木村由紀子、小松哲)
 2位 松尾A(常盤三男、中村健二、西塚高雄)
 3位 橋南橋北(伊藤千昭、坪井優、伊藤晋)

第60回近県弓道上田大会(一般の部)

○平成29年7月23日(日) 上田城跡公園弓道場
 参加人数・73名

▲個人(8射)
 1位 渡邊研二郎
 2位 藤森千友貴
 3位 大月 颯真

■団体の部(24射)
 1位 上田城C(志野純也、岩垂優一、中野栄治)
 2位 混合A(荒井孝芳、西沢徹、関正幸)
 3位 丸子(藤森千友貴、藤澤英輝、遠藤広一)

第16回明治神宮崇敬会全国弓道大会

○平成29年7月23日(日) 明治神宮武道場至誠館第二弓道場

▲称号受有者
 3位 原田 正浩(中高支部)

第6回北信越錬成大会

○平成29年7月30日(日) 新潟県上越市弓道場

- 予選
 - ▲男子
 - 3位 平澤 敏弘
 - 4位 宮坂 博之
 - 7位 志村 仁
 - 10位 北原 修
 - ▲女子
 - 5位 久保田智恵
- 決勝
 - ▲男子
 - 2位 平澤 敏弘
 - ▲北信越ブロック代表
 - 男子 平澤敏弘、志村仁
 - 長野県代表
 - 男子 北原 修
 - 女子 久保田智恵

平成29年度全国高等学校総合体育大会 兼第62回全国高等学校弓道大会

○平成29年8月1日(火)～4日(金)

- 仙台市体育館(宮城県)
- ▲個人の部
 - ▲男子
 - 決勝進出 丸山 颯斗(長野)
 - 予選出場 内村 勇亮(篠ノ井)
 - ▲女子
 - 準決勝進出 亀割 萌(飯田女子)
 - 予選出場 黒木 夏雲(大町岳陽)
- ▲団体の部 予選通過(20射)
 - ▲男子
 - 塩尻志学館(岡田晃輝、村上歩、籠田真輝、塩原真仁、島崎優也、宮沢陸)
 - ▲女子
 - 飯田女子(土岐彩乃、亀割萌、伊藤美月、市瀬夏佳、熊谷桃、木下捺深)
- ▲団体の部 決勝トーナメント(20射)
 - ▲男子
 - 1回戦 大館桂桜(秋田)○16-14×塩尻志学館

第37回飯田市中心道沿線都市スポーツ大会弓道競技

○飯田運動公園県営飯田弓道場

- 参加人数…291名
- 個人の部
 - ▲高校男子
 - 1位 蟹沢 契太(駒ヶ根工業)
 - 2位 中澤 乃悟(甲府商)
 - 3位 熊谷 駿佑(国体少年男子)
 - 4位 中山 亮也(岡谷工業)
 - 5位 志村 龍樹(甲府工業)
 - ▲高校女子
 - 1位 中原 瑠美(伊那西)
 - 2位 北原怜美花(伊那弥生)
 - 3位 藤田 愛(伊那西)
 - 4位 大野田莉子(赤穂)
 - 5位 塚平 彩乃(飯田)
 - ▲一般男子
 - 1位 堀 琢磨(岐阜)
 - 2位 岩村 拓生(松川)
 - 3位 若尾 武宏(岐阜)
 - 4位 安藤 和博(豊明)
 - 5位 常盤 三男(松尾)
 - ▲一般女子
 - 1位 藤澤 敏子(上郷)
 - 2位 矢口 広子(泰阜)
 - 3位 林 和恵(瑞浪)
 - 4位 木村由紀子(上飯田)
 - 5位 中原 純子(松川)

計報のお知らせ(敬称略)

長野県弓道連盟 諏訪支部
 五段 櫻井 佳子(57歳)
 平成29年8月28日(月)
 (逝去されました。)
 ここに謹んで哀悼の意を表し、
 お知らせ申し上げます。

第1回都道府県対抗弓道大会 大会結果

○平成29年7月18日(火) 於…日本武道館

- 予選最終結果一覽
- ▲順位立順競射
 - 1位 長野県 16中
 - 2位 静岡県 15中
 - 2位 栃木県 15中
 - 2位 神奈川県 15中
 - 2位 鹿児島県 15中
- ▲決勝トーナメント
 - 1回戦
 - 神奈川県 16中 対 長野県 14中



速報

天皇盃
 第68回全日本男子弓道選手権大会
 志村仁選手 3位入賞
 おめでとーございませう
 詳細は次号(64号)に掲載します。

昇段昇格者

- 「仙台」定期中央審査会
- ▽教士の部 平成29年7月7日
 棚田 千鶴(長野支部)
- 「大阪」特別教員臨時中央審査会
- ▽六段の部 平成29年8月12日
 大久保雅揮(松本支部)

ゆづりや

(夢)に便乗
 『弓道なご』63号の発行日10月10日は、銭湯の日という事でまずは温泉にちなんだ話題。7月29日から3日間、温泉県大分の別府市遊園地にて、湯ヶ園地と称して温泉を使った8つの(夢)のアトラクションが運行されました。
 そもそも別府市長(長野恭紘氏)が昨年11月ネット上で(夢)の動画をYouTubeに公開、100万回以上再生されたら実行すると豪語したのが始まりでした。ところが、3日間で達成、税金を使わずに実施するにあたって目標額1千万円の賛同支援金をクラウドファンディングで募った所、最終的には8千182万円が集まり実現したというもの。オリンピックスピリットのおもてなしたつぷりの、湯ヶ園地で8つの(夢)のアトラクションを体験しました。
 話は変わりますが、8月17日からの5日間、国道10号線を1キロ区間だけ運転手の乗っていないロボットシャトルが運行されました。コンピュータ制御で動く奇妙な不思議感のあるバスは(夢)の未来感そのもの。目的地へ正確に走るバスに感無量！オリンピックの年には、限定地域路線バスとして運行するのが(夢)ということなんです。
 長野支部 加藤 明美